

- ② 本文の冒頭に、本文内容の要約を 200 字以内程度にまとめて記載する。また、要約の後にキーワード(5 個程度以内)を記載する。

※査読にあたっての公正を期すため、上記の本文及び要約には執筆者が特定できる情報は書き込まないでください。

③ 本文の執筆

①文体

常体(「である。」調)で記載する。

②原稿の記載

原則としてワープロ(ソフト)を用い、1行40字詰め30行で記載する。

③原稿量等

本文の原稿量(文字数)は、図表・写真を含めて下記に記載した分量とする。

ア)原稿容量

原稿の種別に応じ以下を目安とする。

原 著 論 文：15,000 字

判 例 研 究：10,000 字

総 説：10,000 字

事 例：8,000 字

外国文献紹介：6,000 字

短 報：4,000 字

イ)図表・写真の原稿換算

図表及び写真は1点当たり400字として計算する。

④文献の記載

ア)文献は、原則として、引用順に本文中の該当箇所の右肩に片括弧の番号を付し

(例：…¹⁾、稿末に、次項の要領でまとめて記載する。その際、文献の著者が複数の場合は、著者名ごとにカンマで区切り、7名以上の場合は、最初の3名を記載し、あとは「ほか」(英文の場合は et al.)とする。

ただし、同じ情報を含んでおり、形式を統一していれば、法学など、各分野で求められる引用・参照形式を採用しても構わない。

イ)文献の記載例

a)雑誌の場合

著者名. 表題. 雑誌名. 発行年(西暦); 巻:引用頁(00-00).

(例)

- 1) 松尾知明, 蘇リナ, 笹井浩行, 大河原一憲. 座位行動の評価を主な目的とした質問紙「労働者生活行動時間調査票(JNIOOSH-WLAQ)」。産業衛生学雑誌. 2017; 59: 219-28.